

シラバス参照

科目名	地域と風土
配当年次	1年次
開講期間	後期
単位数	2
担当教員	石井 龍太(イシイ リョウタ)
期間・曜日・時限・教室	後期 金曜日 2時限 23-205

※	
授業の目的・目標	<p>【授業の概要】:「地域」の「風土」に切り込む方法は沢山あるが、本講義では、日本そして世界各地に伝わる様々な祭事、中でも仮面祭祀を重点的に取り上げて論じる。世界には多種多様な文化集団が存在し、それぞれ特色ある精神文化を築いてきた。</p> <p>【授業の目的】: 地域の祭事を手掛かりに、我々の住む世界の多様性と共通性を探ることを目的とする。</p> <p>【習得できる力】: ①.知識 ⑤.論理的思考力 ⑥.問題解決力 ⑩.生涯学習力</p> <p>【授業の到達目標】: 講義で取り上げる世界の祭事を切り口として、地域における人々の生活の特色、すなわち「地域と風土」を掘り下げて理解し、幅広い教養と、地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力を習得することを到達目標とする。</p> <p>【実務経験と授業内容との関連】: なし</p>
準備学習等の指示	<p>この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要です。</p> <p>課題の提出は、Teams、WebClass等のLMSを用います。</p>
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】 「地域」とは? 「風土」とは? 【到達目標】 本講義のキーワードである「地域」と「風土」の意味について考え、理解することを目標とする。 【準備学習】 複数の辞書を当たり、「地域」「風土」について検索し自分なりの理解を身に付けておくこと。</p> <p>■2回目 【テーマ】 原始古代の仮面習俗1 縄文時代の仮面習俗 【到達目標】 日本列島を舞台に展開した人工的な人間表現の歴史について縄文時代までさかのぼって紹介する。日本人と仮面の歴史の始まりについて理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、参考文献も参照して、「地域」「風土」「仮面」についての理解を深めた上で受講すること。</p> <p>■3回目 【テーマ】 原始古代の仮面習俗2 弥生・古墳時代と海外先史時代の仮面習俗 【到達目標】 日本列島の弥生時代、古墳時代に展開した仮面文化について知ると共に、海外の先史時代の仮面文化についても学ぶ。時代、地域を超えた人間の文化の共通点と相違点を見出すことを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■4回目 【テーマ】 方相氏 【到達目標】 古代中国に起源を持ち、日本では平安時代までに導入された霊的な戦士である「方相氏」と「鬼」の関わりについて知り、その内容と意味するところを理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■5回目 【テーマ】 なまはげ 【到達目標】 秋田県を中心に行われてきたなまはげ行事を概観し、その特徴、更に現代社会を生きる伝統文化の在り方まで含めて理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■6回目 【テーマ】 トシドン 【到達目標】 鹿児島県下甑島で行われる来訪神儀礼トシドンの内容、特徴を理解し、他の地域との比較を行ってその内容を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■7回目 【テーマ】 ボゼ 【到達目標】 鹿児島県悪石島で行われるお盆行事のキャラクター「ボゼ」を紹介し、他地域の事例と比較しながらその特徴を理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■8回目 【テーマ】 中間まとめ 【到達目標】 紹介してきた様々な仮面祭祀を比較することで、仮面と人間の関わりに見られる時代、地域を超えた共通性を見出し、人間とは何かを文化的に考察することを目標とする。 【準備学習】 これまでの講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■9回目</p>

	<p>【テーマ】 パートゥ 【到達目標】 沖縄県宮古島で行われる夏の行事パートゥプナハと、冬の行事サトゥプナハを紹介し、他地域の事例と比較しながらその特徴を理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■10回目 【テーマ】 マユンガナシ 【到達目標】 沖縄県石垣島北部で行われる来訪神儀礼マユンガナシを紹介し、その特徴を理解することを目標とする。特に同じ集落内で特徴が一部異なる儀礼が行われていることに注目する。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■11回目 【テーマ】 アンガマ 【到達目標】 沖縄県石垣島とその周辺諸島で行われる盆行事アンガマを紹介し、その特徴、特に石垣島四ヶ字と他地域との共通点、相違点について理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■12回目 【テーマ】 アカマタ 【到達目標】 沖縄県西表島と小浜島、石垣島等で行われてきた来訪神儀礼アカマタ・シロマタ・クロマタの儀礼を紹介すると共に、合わせて祭祀を運営する「秘密結社」の構造についても理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■13回目 【テーマ】 タルチュム 【到達目標】 朝鮮半島の伝統的仮面劇であるタルチュムを取り上げ、その特徴、反体制的伝統行事として軍事政権への武器として使われた近代史を紹介し、日本の仮面祭祀との比較を試み、両地域の仮面文化を理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■14回目 【テーマ】 熊祭 【到達目標】 熊を巡る東西世界の異なる祭祀を紹介し、クマと人の関係性が織りなす人間の熊観が良く反映された熊祭祀を比較しつつ理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■15回目 【テーマ】 チェゲッテ 【到達目標】 スイス山間部で行われてきた来訪神儀礼チェゲッテを紹介し、日本列島の仮面祭祀と比較しつつその特徴を理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p>
教科書	特に指定しませんが、講義中に紹介する参考文献を積極的に参照して下さい。
参考文献	大阪府立弥生文化博物館 2010年『平成22年度 夏季特別展 MASK ―仮面の考古学―』 森田拾史郎 1982年『日本の仮面 神々の宴』東海大学出版 後藤淑 1995年『民間仮面史の基礎的研究 ―日本芸能史と関連して―』錦正社 佐原眞編 2002年『仮面 ―そのパワーとメッセージ―』里文出版
授業の方法	<p>授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反転授業 ・実習、フィールドワーク <p>なお、本授業では授業の双方向性と皆さんの学びを可視化するために、Teams等でのチャット機能やFormsを活用した授業を実施します。</p>
成績評価方法	<p>【評価方法】平常点(授業への参画、受講態度)と試験・レポートで評価します。</p> <p>【割合】平常点50%、試験・レポート50%</p> <p>【基準】授業内容に関する深い理解を獲得することが出来たか。</p> <p>【フィードバック方法】なお、課題等については、 ・実技・実習後、全体に向けてコメントします。</p>
オフィスアワー	開講日の昼休み
居室	17-512
ホームページ	城西大学経営学部 石井龍太研究室
その他特記事項	【ナンバリング : GEO101J】
添付ファイル	